2021　夏のおすすめ本　1・2年生

『ホネホネたんけんたい』　アリス館

西澤　真樹子／監修・解説　大西　成明／しゃしん　松田　素子／ぶん

せぼねがぐっとまがっていて、うしろ足だけすごく大きい。ホネだけの写真を見て、何のどうぶつかわかるかな？ホネを見ていくと、それぞれのどうぶつのとくちょうも知ることができる。「鳥の目にはホネがある！」「舌や鼻のなかにもホネがある？！」など、ホネのひみつもたくさんのっているよ。

『ふしぎないどうどうぶつえん』

くさの　たき／作　つぼい　じゅり／絵　金の星社

あした、がっこうに いどうどうぶつえんがきます。みんなにはひみつだけど、はづきは どうぶつがにがてなのです。どうぶつたちが やってくるひのあさ、はづきが きょうしつのドアをあけると、ポニーやヒヨコたちが あさのかいをはじめていました。そこでは、どうぶつたちが きょうのもくひょうを はっぴょうしあっていたのです。

『おひさまやのめざましどけい』

茂市　久美子／さく　よしざわけいこ／絵　講談社

一年生のひろしは、はやおきがとてもにがてです。あるひ「おひさまや」という　ちいさなおみせをみつけたひろしは、そのおみせのうさぎから、どんなにねぼうなひともはやおきになる「まほうのめざましどけい」をわたされます。

『きえた犬のえ』　大日本図書

マージョリー・W.シャーマット／ぶん　マーク・シーモント／え　光吉　夏弥／やく

ネートはどんなじけんもかいけつするめいたんてい。きょうもともだちのアニーから、なくなってしまったえをさがしてほしいといらいがありました。えをみたのは、いぬのファングと、なかよしのロザモンドと、アニーのおとうとのハリー。まずはみんなにはなしをきくことにしました。はたしてネートは、アニーのなくなったえをみつけることができたのでしょうか。

『バナナのはなし』

伊沢　尚子／文　及川　賢治／絵　福音館書店

あまくて　おいしい　バナナ。でも　バナナには　なぞが　いっぱい！バナナのかわは　なんで　黒くなるの？　バナナの花って　どんないろ？？　バナナのタネって　どこに　あるんだろう？？？この本を　よむと　バナナのことが　よくわかるよ。バナナを　食べるまえによんでみてね。

『でんしゃにのったチョウチョ』

浜　たかや／さく　鬼藤　あかね／絵　PHP研究所

あるあついなつのひ。サヤカとおにいちゃんは、ろうじんホームのにわにこっそりチョウチョをとりに行きました。おにいちゃんはむしとりにむちゅうになりすぎて、ころんでしまいます。するとやさしいおばあさんが声をかけてくれました。そのひから、おにいちゃんとサヤカとおばあちゃんはなかよしになります。

『おばけのなつまつり』

山本　和子／作　大和田　美鈴／絵　PHP研究所

かわいいふたごのおばけの　たのしいなつやすみのおはなし。いえでをしたふたごおばけは、ある女の子にであい　おともだちになります。とてもたのしいなつやすみをすごしますが、しょうてんがいをあらしているという　『らくがきだん』をみつけ、やっつけることに。どきどき　わくわく　ふたごおばけがだいかつやく！

小川町立図書館